Panasonic

SIP 電話機 KX-UT シリーズ
拡張機能ガイド

Revision 1.00

© Panasonic System Networks Co., Ltd. 2012

[CONTENTS]

1. はじめに 2

2. ラインボタン 3

2.1. ラインボタンへの着信 3
2.1.1. 着信先情報 3
2.1.2. ＬＥＤ表示 3
2.1.3. ＬＣＤ画面表示 4
2.2. 鳴り分け 4
2.3. 発信 4
2.4. 関連する CONFIGURATION パラメータのまとめ 5
2.5. 機種別状況 5

3. パーク保留 6

3.1. ソフトキーによるパーク保留（パーク番号自動決定） 6
3.1.1. INFO メッセージ／Park イベント 6
3.1.2. 通話相手をパークへ確認転送 7
3.2. FFキーによるパーク保留（パーク番号指定） 8
3.2.1. INFO メッセージ／Park イベント 8
3.2.2. 通話相手をパークへブラインド転送 9
3.2.3. ＬＥＤ情報配信のためのサーバーへのサブスクライブ 10
3.2.4. パーク保留解除 12
3.2.5. 電話機の状態毎のコールパークボタン押下時の動作 12
3.3. 関連する CONFIGURATION パラメータのまとめ 12
3.4. 機種別状況 13

4. 通話相手情報表示変更 14

5. 適用機種 14

注意

－本ドキュメントで提供しております SIP 電話機 KX-UT シリーズ 拡張機能ガイド（以下、本仕様書といいます）の著作権は、パナソニック システムネットワークス株式会社（以下、当社と言います）が有しておりますので、当社の許可なく、本仕様書の内容の一部、または全部を複製、改変したり、頒布、送信することはできません。
－当社は、本仕様書の使用によって生じたいかなる損害に対しても、一切の責任を負いません。
－本仕様書に記載されている情報は今後の製品のバージョンアップにより予告なく変更する可能性があります。

1. はじめに

このドキュメントは発信、着信などの標準SIPインタフェースに対して弊社製品で独自に追加した仕様により実現する機能について記述する。

本仕様は、日本国内においてはファームウェア Ver01.133 以降の KX-UT123、KX-UT136、ファームウェアバージョン ver01.050 以降の KX-UT670 に適用される。KX-UT248(2012 年 7 月発売予定)は KX-UT136、KX-UT670 と同等の機能が提供される予定である。

2. ラインボタン

KX-UT シリーズは複数の電話番号を持つことが出来る。また、FFキー（フレキシブルファンクションキー）を持つ機種では、通話（SIPセション）を保持する[DN]ボタンを複数設定し、各ボタンに異なる電話番号を紐付けることにより異なる電話番号への着信を[DN]ボタンの位置で識別することが出来る。
本仕様で新たに定義するラインボタンは、位置登録している自身の電話番号とは無関係の番号や文字列（例えば、外線代表番号や、内線グループ番号）をパラメーターとして持ち、SIPサーバが送信する着信メッセージ(INVITE)の特定のヘッダ値と一致するボタンへ着信させる機能である。上記ヘッダ値が一致しても、空のラインボタンが無い場合は、[DN]ボタンへ着信させる。

2.1. ラインボタンへの着信

[ライン]ボタンごとに下記のパラメータを指定できる。
　着信先識別子：任意の文字列。下記ヘッダのユーザー部と比較される。
　　着信音番号と合わせて、最大32文字まで指定可能。
　着信音番号：音色を表し、1－32を指定できる。
　ラベル：4行表示可能な機種で着信中、通話中の1行目に表示する。
[ライン]ボタンは必要な個数をFFキーに登録できる。（Configuration ファイル、または内蔵 Web（ユーザー権限））
[DN]ボタン同様、ボタン1つに付き、1つの呼（SIPセッション）を保持する。

2.1.1. 着信先情報

下記のヘッダを着信先情報として使用できる。着信時には1をチェックし、無ければ2をチェックする。

	ヘッダ名称	利用するための条件、注意
1	P-Called-Party-ID (RFC3455)	To にはこの電話機の電話番号を設定すること。
2	To	着信を受ける SIP ポート番号（電話番号毎に異なる値を指定）の SIP_RCV_DET_HEADER_n を”N”に設定する必要がある。 ”Y”の場合、To の値が自身の電話番号と異なると着信を拒否する。

※サーバーの実装都合により、1、または2のどちらかを着信メッセージ(INVITE)に含めること。
着信時には下記の順序で着信可能かチェックする。
(1)電話番号共通の設定（着信拒否番号）をチェックする。
(2)電話番号毎の設定（着信拒否、不在転送、非通知着信拒否）をチェックする。
・着信を受けたSIPポート番号に割り当てられた電話番号の設定をチェックする。
(3)着信先識別子が一致する空[ライン]ボタンの最若番へ着信させる。
(4)空[ライン]ボタンが無い場合、受信 SIP ポート番号に割り当てられた電話番号に紐付けられた空[DN]ボタンの最若番へ着信させる。
空[DN]ボタンが無い場合は、ビジー扱いとなる。（486 応答か、（話中）不在転送実行）

【オプション Configuration パラメータ】
・LINEKEY_ENABLE：内蔵 Web のFFキー設定メニューの種別に[ライン]を表示するか否かを指定する。
N：表示しない（工場出荷値）、Y：表示する

2.1.2. LED表示

[ライン]ボタンのLEDは電話機自身の制御により、下記表示を行う。LED状態は[DN]ボタンと同じ表示である。

LED状態	呼の状態
消灯	空
緑早い点滅	着信中
緑点灯	通話中
緑遅い点滅	保留中

2.1.3. LCD画面表示

[ライン]ボタン、または[DN]ボタンに着信中の画面表示は下記の通りである。

	4行表示可能機種 (UT136/248/670)		2行表示可能機種 (国内用:UT123)
1	ボタンラベル	1	状態表示文字列
2	発信者名／発信者番号／着信先名	2	発信者名／発信者番号／着信先名／着信先番号
3	発信者番号／着信先名／着信先番号		
4	状態表示文字列		

※着信先名前:指定ヘッダの表示名　着信先番号:指定ヘッダのユーザー部

表示は、Configuration パラメータ DDI_ICD_GROUP_DISPLAY に従い下記のようになる。

パラメータ値	4行表示可能モデルの表示内容		2行表示可能モデル		
0:発信者表示のみ	2 行	発信者名	発信者名	[→]押下	発信者番号
	3 行	発信者番号			
1:発信者表示優先（工場出荷値）	2 行	発信者名	発信者名		発信者番号 （注 1）
	3 行	発信者番号 （注 1）			
2:着信先表示優先	2 行	**着信先名** （注 3）	**着信先名**（注 3）		**発信者名** （注 4）
	3 行	発信者名 （注 2）			
3:着信先表示のみ	2 行	**着信先名**	**着信先名**		**着信先番号**
	3 行	**着信先番号**			

(注 1)発信者番号がない場合は、着信先名を表示する。着信先名もない場合は、着信先番号を表示する。
(注 2)3行目に発信者名がなく、2 行目に発信者番号が表示されない場合は、3 行目に発信者番号を表示する。
(注 3)着信先名がない場合は、着信先番号を表示する。着信先番号もない場合は、発信者番号を表示する。
(注 4)発信者名がない場合は、発信者番号を表示する。
※[ライン]ボタンへの振り分けは、上記が0（着信先情報を表示しない）を選択していても実行される。
（注5）P-Called-Party-ID または To ヘッダで受信した着信先番号が、メッセージを受信した SIP ポート番号に割り当てられた自分の電話番号と一致する場合、そのヘッダが無かったものとする。例えば、上記注3の場合で一致したら、発信者番号を表示する。「**3:着信先表示のみ**」を選択している場合は、空行となる。

2.2. 鳴り分け

着信音は音色と波形の組み合わせで指定される。
音色は電話帳に登録された着信音番号1－32、なければ[ライン]、[DN]キーごとに指定される着信音番号が使用される。
波形は通常着信は1パターンであるが、Alert-Info で変更することが出来る。

Alert-Info: <http://127.0.0.1/Bellcore-dr1>
Alert-Info: <http://127.0.0.1/Bellcore-dr2>
Alert-Info: <http://127.0.0.1/Bellcore-dr3>
Alert-Info: <http://127.0.0.1/Bellcore-dr4>
Alert-Info: <http://127.0.0.1/Bellcore-dr5>

Bellcore-drx の波形は Configuration パラメータ BELL_CORE_PATTERNx_TIMING で変更できる(x=1-5)。
工場出荷値は取扱説明書（プログラム編）を参照。

2.3. 発信

発信は[DN]ボタンを使用して行う。空の[ライン]ボタンを押下しても発信することは出来ない。
[ライン]ボタンでSIPサーバの回線番号選択を行う操作の代用として、ワンタッチダイヤルに継続ダイヤルを許すオプションコード"-"を追加する。（現状では、ワンタッチダイヤルは即座に発信する）
（例）[ワンタッチダイヤル1]にSIPサーバー外線側の"*901-"を登録する。
※"*901"は回線番号 01 を選択するSIPサーバの特番とする。
1)オフフックする。⇒ダイヤルトーンを聴取する。
2)[ワンタッチダイヤル1]を押下する。
⇒ダイヤルトーンが停止し、画面に*901 を表示し、後続ダイヤル入力待ちとなる。
※待機中に[ワンタッチダイヤル1]を押下した場合は、上記と同じ状態（ただしハンズフリー）となる。
3)宛先番号 01234567891 をダイヤルする⇒SIPサーバーへ*90101234567891 を宛先として発信する。
・"-"はワンタッチダイヤルの末尾に登録されている場合のみ、上記継続ダイヤルとして機能する。ダイヤル途中にある場合は、そのまま宛先文字列として To ヘッダに挿入される。

2.4. 関連する Configuration パラメータのまとめ

パラメータ名	説明	工場出荷値
SIP_RCV_DET_HEADER_n	着信を受ける SIP ポート番号で宛先番号をチェックする **N : OFF(チェックしない)**、Y : ON　(チェックする)	N
LINEKEY_ENABLE	内蔵 Web のFFキー設定メニューの種別に「ライン」を表示するか **N:表示しない**、Y:表示する	N
DDI_ICD_GROUP_DISPLAY	**着信画面での着信先情報の表示の仕方** **0:発信者表示のみ、1:発信者表示優先** **2:着信先表示優先、3:着信先表示のみ**	1
FLEX_BUTTON_FACILITY_ACTx	FFキー種別の設定に X_PANASONIC_IPTEL_LINE を追加	
FLEX_BUTTON_FACILITY_ARGx	着信音番号(1-32),着信先識別子　（例）1,0322223333	

※上記パラメータの変更は本製品再起動後に反映されます。

2.5. 機種別状況

	UT123（FFキー無し）	UT136（FFキーあり）
[ライン]ボタンによる振り分け	×	○
鳴り分け	△(Alert-Info 指定のみ)	○
LCD表示	○	○
発信	×（ワンタッチダイヤル無し）	○

3. パーク保留

通話相手をシステムで共有されるパークに保留し、パーク番号を口頭で伝えることで呼の転送を行う機能である。
下記4つの操作方法を提供する。1，2，3，4の組み合わせは Configuration パラメータ、CALLPARK_METHOD で指定する。3.3節を参照。

	分　類	押下するボタン	SIPインタフェース	UT123	UT136
1	パーク番号自動決定	[パーク保留]ソフトキー	INFO（パーク番号=*）をサーバーへ送信	○	○
2			通話相手をパークへ確認転送	○	○
3	パーク番号指定	[コールパーク]FFキー	INFO（パーク番号=xxx）をサーバーへ送信	×	○
4			通話相手をパークへブラインド転送	×	○

KX-UT123　　KX-UT136

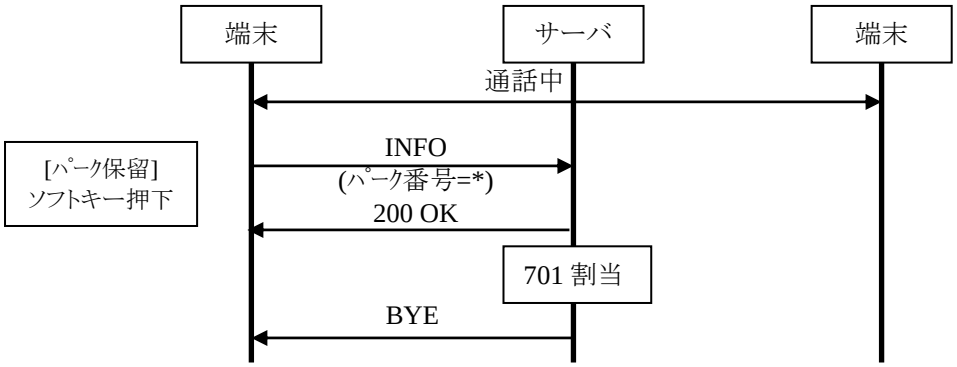
3.1. ソフトキーによるパーク保留（パーク番号自動決定）

ソフトキーによるパーク保留を使用しない場合は、下記パラメータで「表示しない」を選択する。
【オプション Configuration パラメータ】
・CALLPARK_KEY_ENABLE：通話中に[パーク保留]ソフトキーを表示するか否か指定する。
N：表示しない（工場出荷値）、Y：表示するサーバーによるパーク番号自動選択：INFO 送信

3.1.1. INFO メッセージ／Park イベント

【操作】
1)端末が通話中にソフトキー[パーク保留]を押下する。
⇒SIPサーバーに INFO を送信する。
⇒SIPサーバは現通話セッションを切断して通話相手を空のパークに保留する。
⇒端末は被切断音（リオーダトーン）送出後、待機状態へ遷移する。
※空パークが無い場合、現通話は継続され、端末では何も変化が起きない。
※割り当てられたパーク番号を端末で確認する方法は、次節と同じである。

【SIPシーケンス】



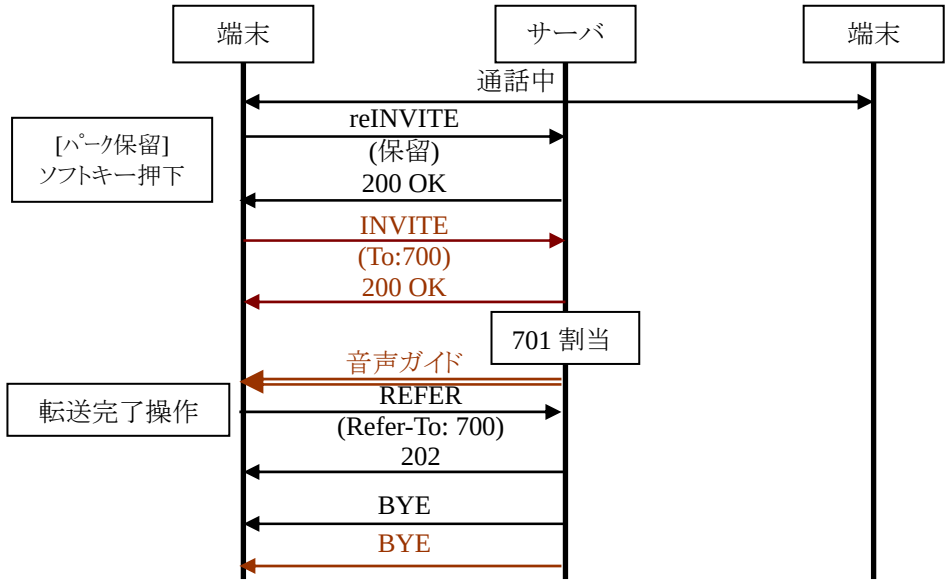
【SIPメッセージ書式】
・3.2節を参照。

3.1.2. 通話相手をパークへ確認転送

【操作】
1)端末が通話中にソフトキー[パーク保留]を押下する。
⇒通話相手を転送保留し、パラメータ NUM_PLAN_PARKING で指定されたパーク保留特番（Asterisk 標準では 700）へ発信する。
※空パークが無い場合、通話相手は転送保留したまま、ビジートーン聴取となる。
2)サーバーはこの発信に自動応答し、空のパークを割り当てる。Asterisk の場合、番号を音声ガイドで通知する。
3)端末が転送完了操作（オンフックや[OK]、[転送完了]ソフトキー押下）することで、通話相手がパーク保留される。
音声ガイド以外のパーク番号確認方法として下記のオプションがある。
(1)[コールパーク]ボタンによる表示
・割り当てられたパーク番号の[コールパーク]ボタンを端末がFFキーに割り当てている場合、LEDが点滅表示になる。
(2)端末画面上でのパーク番号表示
・端末へ PAI を含む reINVITE（4章参照）を送出することで、端末画面へパーク番号表示を指示することが出来る。ただし、下記2点の制限がある
・reINVITE の瞬間に受信音声が一旦途切れる可能性があるので、音声ガイドとの併用は注意が必要。
・現セッションを切断すると表示が消えるので、BYE 送信を遅延しなければならない。

【条件】
・既に転送保留、会議保留を持つ場合、[パーク保留]ソフトキーは表示されない。

【SIPシーケンス】



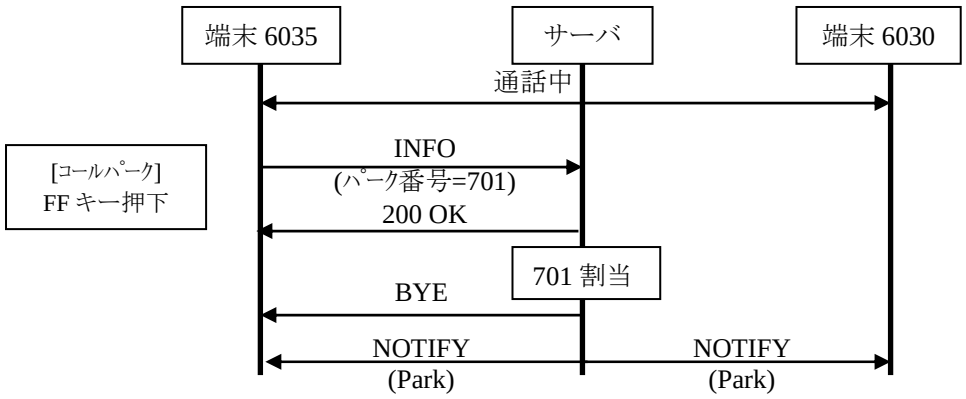
3.2. FFキーによるパーク保留（パーク番号指定）

フレキシブルファンクションキー（FFキー）に[コールパーク]ボタン（パラメータ=パーク番号）を設定しておく。
[コールパーク]ボタンは必要な個数をFFキーに登録できる。（Configuration ファイル、または内蔵 Web（ユーザー権限））
FFキーによるパーク保留を使用しない場合は、下記パラメータで「表示しない」を選択する。
【オプション Configuration パラメータ】
・CALLPARK_AREAKEY_ENABLE：内蔵 Web のFFキー設定メニューに表示するか指定する。
N：表示しない（工場出荷値）、Y：表示する

3.2.1. INFO メッセージ／Park イベント

【操作】
1)通話中に空の[コールパーク]ボタンを押下する。
⇒SIPサーバーに INFO を送信する。
⇒SIPサーバは現通話セッションを切断して通話相手をパーク保留し、該当する[コールパーク]ボタンの LED 情報を、当該ボタンを持つ全ての端末へ送信する。LED情報については3.2.3節を参照。
⇒端末は被切断音（リオーダトーン）送出後、待機状態へ遷移する。
※同一パーク番号への保留動作の競合により保留に失敗した場合は、現通話が継続される。

【SIPシーケンス】



【SIPメッセージ書式】
INFO メッセージは下記黄色網掛け部分のヘッダとボディを含むこと。

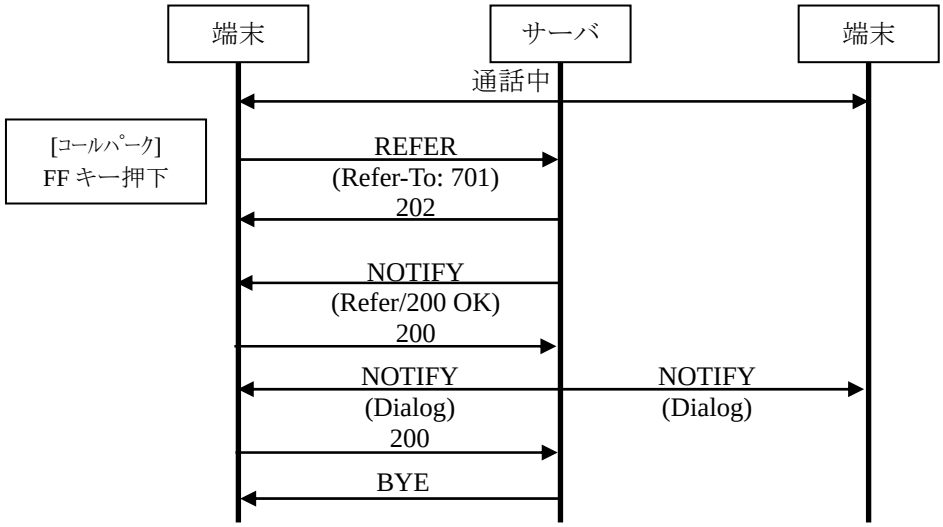
```
INFO sip:6030@192.168.0.11:5060 SIP/2.0
Via: SIP/2.0/UDP 192.168.0.251:5060;branch=z9hG4bKsa8a00755f
Max-Forwards: 70
Call-ID: 1880eec43defafcc166f71ab23c5cb11@192.168.0.11:5060
From: <sip:6035@192.168.0.251>;tag=3277427346
To: "Pana Taro" <sip:6030@192.168.0.11>;tag=as79a6ee66
CSeq: 1 INFO
Allow: INVITE,ACK,CANCEL,BYE,INFO,UPDATE,OPTIONS,NOTIFY,REFER
Content-Type: application/callcontrol
User-Agent: Panasonic_KX-UT136/01.062 (0080f0c5725b)
Content-Length: 27

operation=park&number=701
```

※パーク番号＝701の例

3.2.2. 通話相手をパークへブラインド転送

【操作】
1)端末が通話中に[コールパーク]を押下する。
⇒通話相手をパラメータ NUM_PLAN_PARK_AREA＋パーク番号で指定された宛先へブラインド転送する。
※NUM_PLAN_PARK_AREA がヌル文字の場合、パーク番号へブラインド転送する。
⇒端末は待機状態へ遷移する。
※同一パーク番号への保留動作の競合により保留に失敗した場合は、現通話が継続される。
※パーク番号のプレフィクス NUM_PLAN_PARK_AREA は本節の Refer-To ヘッダと3.2.4 パーク保留解除の To ヘッダの2つの場合にのみ使用される。

【SIPシーケンス】



※NOTIFY を一定時間受信しないと転送成功とみなして現通話を切断するので、NOTIFY(Refer)は必須。

3.2.3. LED情報配信のためのサーバーへのサブスクライブ

[コールパーク]ボタンごとにサーバーへ SUBSCRIBE する。

(1)Park イベントのメッセージ例

メッセージは下記黄色網掛け部分のヘッダとボディを含むこと

```
SUBSCRIBE sip:701@192.168.0.11:5060 SIP/2.0
Via: SIP/2.0/UDP 192.168.0.251:5060;branch=z9hG4bKs2e4ed397f
Max-Forwards: 70
Call-ID: 8a36c313-1a519516b1903e2c5f840080f0c5725b@192.168.0.251
From: <sip:6035@192.168.0.11>;tag=3146697803
To: <sip:701@192.168.0.11>
CSeq: 2 SUBSCRIBE
Authorization: Digest realm="asterisk",nonce="527fb862",algorithm=MD5,uri="sip:701@192.168.0.11:5060",
username="6035",response="e544b11bb5ec4ea59859ed160df3a445"
Allow: INVITE,ACK,CANCEL,BYE,INFO,UPDATE,OPTIONS,NOTIFY,REFER
Accept: application/callcontrol
Contact: <sip:6035@192.168.0.251:5060>
Expires: 3600
Event: park;number=701
User-Agent: Panasonic_KX-UT136/01.062 (0080f0c5725b)
Content-Length: 0
```

```
NOTIFY sip:6035@192.168.0.251:5060 SIP/2.0
Via: SIP/2.0/UDP 192.168.0.11:5060;branch=z9hG4bK35bd3a16
Max-Forwards: 70
From: <sip:701@192.168.0.11>;tag=as7f3a3808
To: <sip:6035@192.168.0.11>;tag=3146697803
Contact: <sip:701@192.168.0.11:5060>
Call-ID: 8a36c313-1a519516b1903e2c5f840080f0c5725b@192.168.0.251
CSeq: 102 NOTIFY
User-Agent: Asterisk PBX 10.0.0-beta1
Subscription-State: active
Event: park;number=701
Content-Type: application/callcontrol
Content-Length: 3

0
```

ボディの値は以下の通り。

値	LED 状態
0	消灯
1	使用中(赤遅い点滅)
2	使用中(緑遅い点滅)

(2)Dialog イベント(RFC4235)のメッセージの例

```
SUBSCRIBE sip:701@192.168.0.11:5060 SIP/2.0
Via: SIP/2.0/UDP 192.168.0.251:5060;branch=z9hG4bKs2e4ed397f
Max-Forwards: 70
Call-ID: 8a36c313-1a519516b1903e2c5f840080f0c5725b@192.168.0.251
From: <sip:6035@192.168.0.11>;tag=3146697803
To: <sip:701@192.168.0.11>
CSeq: 2 SUBSCRIBE
Authorization: Digest realm="asterisk",nonce="527fb862",algorithm=MD5,uri="sip:701@192.168.0.11:5060",
username="6035",response="e544b11bb5ec4ea59859ed160df3a445"
Allow: INVITE,ACK,CANCEL,BYE,INFO,UPDATE,OPTIONS,NOTIFY,REFER
Accept: application/dialog-info+xml
Contact: <sip:6035@192.168.0.251:5060>
Expires: 3600
Event: dialog
User-Agent: Panasonic_KX-UT136/01.062 (0080f0c5725b)
Content-Length: 0
```

```
NOTIFY sip:6035@192.168.0.251:5060 SIP/2.0
Via: SIP/2.0/UDP 192.168.0.11:5060;branch=z9hG4bK35bd3a16
Max-Forwards: 70
From: <sip:701@192.168.0.11>;tag=as7f3a3808
To: <sip:6035@192.168.0.11>;tag=3146697803
Contact: <sip:701@192.168.0.11:5060>
Call-ID: 8a36c313-1a519516b1903e2c5f840080f0c5725b@192.168.0.251
CSeq: 102 NOTIFY
User-Agent: Asterisk PBX 10.0.0-beta1
Subscription-State: active
Event: dialog
Content-Type: application/dialog-info+xml
Content-Length: 202

<?xml version="1.0"?><dialog-info xmlns="urn:ietf:params:xml:ns:dialog-info" version="0" state="full"
entity="sip:701@192.168.0.11"><dialog id="701"><state>terminated</state>
</dialog>
</dialog-info>
```

<state>値	Park	BLF(参考)	出典
terminated	消灯	消灯	RFC4235
early	ー	赤点滅	RFC4235
confirmed	赤遅い点滅	赤点灯	RFC4235
I-use	緑遅い点滅	緑点灯	Panasonic 独自

※端末では赤点滅、緑点滅ともにそのパーク番号が使用中として扱うので、動作上の差異は無いが、緑点滅を自端末による保留、赤点滅を他端末による保留とサーバー側が使い分けることにより、利用者の目視確認の助けとなる。

3.2.4. パーク保留解除

待機中や、ダイヤルトーン聴取中に使用中の[コールパーク]ボタンを押下することで、保留解除できる。
【操作】
1)待機中に、使用中[コールパーク]ボタン（赤点滅、または緑点滅）を押下する。
⇒自動的にハンズフリー状態になり、パーク番号指定特番（NUM_PLAN_PARK_AREA）＋パーク番号を宛先として発信する。　※NUM_PLAN_PARK_AREA にヌル文字""を指定した場合、パーク番号のみで発信する。
⇒サーバーは上記発信に即座に応答し、保留呼と接続する。
※この際の端末への200応答に PAI（4章）を含める事で保留者の名前、番号を通話中の画面に表示できる。

SIPサーバーの特番をダイヤルすることでパーク保留解除ができると思われるが、本仕様書のスコープ外である。

3.2.5. 電話機の状態毎のコールパークボタン押下時の動作

状態	空	使用中
待機中 プリダイヤル中 着信中	無視	保留解除 （空 DN キーがある場合のみ）
DT聴取中 ダイヤル中	<転送保留/会議保留なし> ・無視 <転送保留/会議保留あり> ・転送/会議保留をパーク保留*	<転送保留/会議保留なし> ・保留解除 <転送保留/会議保留あり> ・無視
発信中	<転送保留/会議保留なし> ・無視 <転送保留/会議保留あり> ・転送/会議保留をパーク保留*	無視
通話中	パーク保留	無視
通話中（転送/会議保留あり） 会議通話中 被保留	無視	無視
ビジートーン聴取中 リオーダトーン聴取中	<転送保留/会議保留なし> ・無視 <転送保留/会議保留あり> ・転送/会議保留をパーク保留*	<転送保留/会議保留なし> ・保留解除 <転送保留/会議保留あり> ・無視

＊保留セッションに対して INFO、または REFER を送信する。INFO に対して非200応答、または REFER が失敗する場合（サーバーが保留セッションのパーク保留に未対応）は保留呼の呼び戻しになる。

3.3. 関連する Configuration パラメータのまとめ

パラメータ名	説明				工場出荷値
NUM_PLAN_PARKING	[パーク保留]ソフトキーによるパーク保留特番。				“”
CALLPARK_KEY_ENABLE	通話中に[パーク保留]ソフトキーを表示する **N:表示しない**、Y:表示する				N
CALLPARK_ AREA KEY_ENABLE	内蔵 Web のFFキー設定メニューに[コールパーク] を表示する **N:表示しない**、Y:表示する				N
CALLPARK_METHOD	[パーク保留]ソフトキーと[コールパーク]FFキーの保留動作を指定する。 ※0 は弊社 PBX 専用です。				0
	値	ソフトキー	FFキー	LED 情報配信	
	0	-	**Panasonic 専用**	**Panasonic 専用**	
	1	INFO 送信	INFO 送信	Park イベント	
	2	パークへ確認転送	パークへブラインド転送	Dialog イベント	
NUM_PLAN_PARK_AREA	[コールパーク]FFキーによるパーク番号指定特番。3.2.2節を参照				“”
FLEX_BUTTON_FACILITY_ACTx	FFキー種別の設定に X_PANASONIC_IPTEL_CALLPARK を追加				
FLEX_BUTTON_FACILITY_ARGx	パーク番号 ※パーク番号を指定しない場合、無効キーとなる（CALLPARK_METHOD の値が 0 以外）				

※上記パラメータの変更は本製品再起動後に反映されます。

3.4. 機種別状況

	UT123（FFキー無し）	UT136（FFキーあり）
ソフトキーによるパーク保留	○	○
FFキーによるパーク保留	×	○
パーク保留解除	×（特番による解除は可能：サーバー仕様による）	○

4. 通話相手情報表示変更

以下のSIPメッセージに P-Asserted-Identity が含まれていると、表示名を通話相手名前欄に、ユーザ部を通話相手番号欄に表示する。

	サーバ⇒端末へのメッセージ	使用例
発信中	18x 応答	不在転送の発信者側への宛先表示
	200 応答	代理応答
通話中	reINVITE	確認転送の転送先での通話相手表示
	200 応答	

5. 適用機種

	UT123	UT136
2.1.1. 着信先情報	×	○
2.1.2. LED表示	×	○
2.1.3. LCD画面表示	○	○
2.2. 鳴り分け	△(Alert-Info のみ)	○
2.3. 発信	×	○
3.1. ソフトキーによるパーク保留	○	○
3.2. FFキーによるパーク保留	×	○
3.3. LED情報配信のためのサーバーへのサブスクライブ	×	○
3.4. パーク保留解除	×	○
4. 通話相手情報表示変更	○	○